

計画の名称	鳥取・岡山県北地域の多様な観光資源を活かした広域観光活性化計画（重点）											
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	鳥取県											
計画の目標	鳥取県と岡山県は、中国圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「2-3 多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進」を推進するため、大山隠岐国立公園の大山・蒜山地域をはじめとする美しい自然を活かした体験型コンテンツの提供や、スポーツツーリズム等の各種取組が進められている。また、道の駅等において情報発信ツールの拡充や施設整備による機能強化を図ることで、拠点間の連携や県内外・外国人観光客の受入環境を充実される取組が進められており、鳥取県・岡山県では、これらの取組に合わせて必要な基盤整備事業を実施することで、当該エリアのさらなる誘客拡大を図り、観光振興による地域の活性化を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,050	A	3,050	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		R10
1	【鳥取県・岡山県 共通目標】鳥取県、岡山県の拠点施設を有する地域の観光入込客数1794万人（H30）から1848万人（R10）に増加（54万人（3%）の増加） 鳥取県、岡山県の拠点施設を有する地域の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - H30の年間観光入込客数) / (H30の年間観光入込客数)	1794万人	万人	1848万人
2	【鳥取県 単独目標】鳥取県の拠点施設を有する地域の観光入込客数965万人（H30）から994万人（R10）に増加（29万人（3%）の増加） 鳥取県の拠点施設を有する地域の観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の年間観光入込客数 - H30の年間観光入込客数) / (H30の年間観光入込客数)	965万人	万人	994万人
3	【鳥取県 単独目標】鳥取県の拠点施設間や拠点施設と高速道路ICを結ぶ観光ルートにおける1日あたりの総アクセス時間を301時間・台/日（R10）短縮する 道路整備に伴う拠点施設間や拠点施設と高速道路ICを結ぶ観光ルートのアクセス短縮時間に各地点の交通量を乗じることにより、1日の総短縮時間を算定。 (アクセス時間短縮効果) = (整備前のアクセス時間 - 整備後のアクセス時間) × 日交通量（H27道路交通センサス） A11-001～A11-006が対象	0時間・台/日	時間・台/日	301時間・台/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	改築	(一)小河内加茂線(高 山2工区)	線形改良 L=1.00km	鳥取市						400	-	
	A11-002	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	改築	(主)岩美八東線(中工 区)	現道拡幅 L=0.20km	八頭町						200	-	
	A11-003	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	改築	(主)智頭用瀬線(市瀬4 工区)	現道拡幅 L=0.10km	智頭町						100	-	
	A11-004	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	改築	(一)船上山赤碕線(大 石工区)	バイパス L=0.83km	琴浦町						400	-	
	A11-005	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	改築	(主)鳥取鹿野倉吉線(坂 本工区)	バイパス L=1.00km	三朝町						800	-	
	A11-006	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	改築	(主)米子大山線(赤松 ~大山寺工区)	現道拡幅 L=5.00km	大山町						800	-	
	A11-007	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	国道	修繕	(国)482号(福園工区)	落石防護柵修繕 L=0.20km	鳥取市						200	-	

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域活性化事業	A11-008	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	修繕	(主)米子大山線(榎原 ~大山寺工区)	融雪施設修繕 L=2.10km	大山町						100	-	
	A11-009	道路	一般	鳥取県	直接	鳥取県	都道府 県道	修繕	(主)米子大山線(赤松 工区)	防護柵修繕 L=0.10km	大山町						50	-	
											小計						3,050		
												合計						3,050	

事前評価チェックシート

計画の名称： 鳥取・岡山県北地域の多様な観光資源を活かした広域観光活性化計画（重点 ）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

様式2 (社会資本整備総合交付金：6)

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R6	R7	R8	R9	R10
配分額 (a)					
計画別流用増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					